

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	国語科・論理国語	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	17時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
・「探究する力」 （竹内薫）	・段落相互の関係性や具体例に注意しながら、「探究する力」に関する筆者の主張を読み取り、自分の考えを深めることができる。	知・技	・現代社会と密接に関わる語句の意味を理解している。 ・具体例の役割を意識して本文の内容を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		思・判・表	・段落相互の関係性に注意して「探究する力」に関する筆者の主張を読み取り、自分の将来について考えを深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		主体的学習	・AIと人間とを比較し、「探究する」ことの意義を踏まえた上で、自分の将来について考えを深めようとしている。	・プリント／行動観察	
・「補助線を引きながら考える」 （鷲田清一）	・論理展開や独特の言い回しに注意しながら、筆者の「補助線を引きながら考える」という主張を読み取り、自分の考えを深めることができる。	知・技	・論理関係を表す言葉や接続表現の働きを理解している。 ・論理展開を意識しながら本文の内容を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		思・判・表	・論理展開や独特の言い回しに注意しながら、筆者の主張を読み取り、身近な問いについて自分の考えを深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		主体的学習	・本文から読み取ったことを、自らの実生活と結びつけて具体的な問いを立て、考えを深めようとしている。	・プリント／行動観察	
・「自分を客観的に見つめよう」	・用いる情報を吟味しながら、立場や目的を明確にして自己アピールの根拠を整理し、自分を客観視することができる。	知・技	・自分に関する情報を適切に組み合わせて、効果的な自己分析シートを作成している。	・プリント／行動観察	
		思・判・表	・用いる情報を吟味しながら、自分の立場や目的を明確にして、自己アピールのための適切な根拠を整理している。	・プリント／行動観察	
		主体的学習	・自分の生活を振り返って自己分析シートを作成し、自分を客観的に捉えようとしている。	・プリント／行動観察	

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	国語科・国語表現	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	26時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
・「4 自己PRと面接」 ①自分を見つめて ②効果的な自己PR	・自分の過去と現在、長所と短所を整理することで、効果的な自己PRを作成することができる。	知・技	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、文章の中で使用している。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		思・判・表	・自分の過去と現在、長所と短所を整理し、効果的な自己PRを作成している。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		主体的学習	・自分の過去と現在、長所と短所を整理しようとしている。 ・言葉を吟味しながら、自己PRを作成しようとしている。	・プリント／行動観察	
・「4 自己PRと面接」 ③将来の自分を考えよう	・将来就きたい職業について調べ、将来の自分について、文章にまとめることができる。	知・技	・文章の種類や特徴、構成や展開の仕方を理解している。 ・必要な情報を調べて、自分の表現に役立てている。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		思・判・表	・将来就きたい職業について適切な方法で調べ、将来の自分について、文章にまとめることができる。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		主体的学習	・将来就きたい職業について、積極的に調べようとしている。 ・将来の自分について、文章にまとめようとしている。	・プリント／行動観察	
・漢字、語句、敬語、表記のきまり	・漢字や語句、敬語、表記のきまりについて理解を深め、適切に使用することができる。	知・技	・自分の思いや考えを伝えるために必要な語句や表記のきまりを理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		思・判・表	・漢字や語句、敬語、表記のきまりに注意して、適切に使用することができる。	・定期考査 ・プリント／行動観察	
		主体的学習	・漢字や語句、敬語、表記のきまりを理解し、適切に使用しようとしている。	・プリント／行動観察	

短期シラバス（第1回考査分①）

教科・科目名	地理歴史・日本史探究	学年・コース	第3学年（普通コース）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
第3章 中世社会の成立 18. 地頭・御家人と荘園の変質 19. 鎌倉時代の経済・産業と自然環境 20. モンゴルの襲来と日宋・日元交流 21. 社会の変動と鎌倉幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などをもとに、古代から中世への時代の転換を理解する。 ・ 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現できる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 ・ 諸資料から情報を読み取り、モンゴルの襲来から鎌倉幕府の滅亡までの歴史的過程について理解している。 ・ 鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習アプリの取り組み ・ 小テスト ・ 定期考査 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動や御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流と文化への影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書「Try」への取り組み ・ 学習アプリの取り組み ・ 定期考査（資料の読解・論述問題） 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。 ・ 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代のつながりから、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に対する姿勢 ・ 学習アプリの取り組み ・ 課題の提出 	

短期シラバス（第1回考査分②）

教科・科目名	地理歴史・日本史探究	学年・コース	第2学年（普通コース）	予定時数	14時間
--------	------------	--------	-------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第4章 中世社会の展開 22. 南北朝の内乱 23. 足利義満と室町幕府 24. 東アジアの海をゆきかう人々 25. 惣村と一揆	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色について理解する。 ・ 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、 関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成などについて、 諸資料から情報を収集して理解している。 ・ 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭し自治の村が成立したことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プログラムの取り組み ・ 小テスト ・ 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南北朝の動乱と日本列島の地域社会の変質や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 一揆が形成され広まった背景や一揆の構造について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを踏まえ多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書「Try」への取組み ・ 学習プログラムの取り組み ・ 定期考査（資料の読解・論述問題）
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代のつながりから、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。 ・ 室町時代に成立した村の自治と現代社会における自治との共通点や相違点など、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に対する姿勢 ・ 学習プログラムの取り組み ・ 課題の提出

短期シラバス（第1回考査分①）

教科・科目名	公民・政治経済	学年・コース	第3学年（普通コース）	予定時数	18時間
--------	---------	--------	-------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2部 現代の国際政治・国際経済 第1編 現代の国際政治 1. 国際社会と国際法 2. 国際社会の変化 3. 国際連合と国際協力 4. こんにちの国際政治 5. 人権・民族問題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解する ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 ・現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プログラムの取り組み ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プログラムの取り組み ・定期考査（資料の読解・論述問題）
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する姿勢 ・学習プログラムの取り組み ・課題の提出

短期シラバス (第1回考査分)

教科・科目名	公民・公共	学年・コース	第1～3学年(普通・夢トライコース)	予定時数	16時間
--------	-------	--------	--------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと産業の変化	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済では私有財産制と経済活動の自由が保障されていることを理解するとともに、戦後は資本主義経済のもとで、政府が積極的な財政運営を実施したことを理解する。 労働生産性や賃金などが安い中小企業は後継者不足に直面していることを理解する。 「日本型経営」の内容が企業別労働組合、就寝雇用制、年功序列型賃金であることを理解する。 	知・技	・現代の企業の果たす役割および中小企業や農業の果たす役割と現状を理解している。また産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働時間について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題 小テスト 定期考査
		思・判・表	・現代の企業倫理について考察するだけでなく、経済のサービス化が進展することで国民生活にどのような変化をもたらしたのかを考察し、適切に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 小テスト (資料読み取り) 定期考査
		主体的学習	・先端技術が発展するなか、自分の進路や職業選択を主体的に追究しようとしている。また経済社会に主体的に生きるため、今後の日本経済を主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 課題 授業プリント 発問への回答状況
第2節 市場経済のしくみと金融	<ul style="list-style-type: none"> 市場経済を原則とする資本主義経済体制下では、価格の児童調節機能により需要量と供給量が調整されることを理解する。 国内総生産や国民総所得、国民所得などの経済指標を踏まえるとともに、景気変動や経済成長について理解する。 日本銀行の役割を理解するとともに、経済や物価安定を目的とした金融政策の方法を理解する。 	知・技	市場経済のメカニズムや各種経済指標を理解している。また金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段の提示方法を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題 小テスト 定期考査
		思・判・表	需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのかを考察し、適切に表現している。またGDPが大きいことが豊かさにつながるのかを考察し、適切に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 小テスト (資料読み取り) 定期考査
		主体的学習	需給関係によって変動する商品価格を踏まえた合理的な消費行動や、超低金利時代に生きる一員として今後の経済設計を主体的に追究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 課題 授業プリント 発問への回答状況

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	数学 数学 A	学年・コース	第3学年（普通コース・夢トライコース）	予定時数	23時間
--------	---------	--------	---------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
計算の基礎の演習 第3章 数学と人間の活動	・数の体系について理解の理解を深め、四則計算ができるようになる。さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。	知・技	・数の計算、文字式、方程式を解く中で計算の法則を身につけている。 ・約数・倍数の意味を理解している。	・行動観察 ・課題の取組状況 ・定期考査の成績
		思・判・表	・既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。	・行動観察 ・課題の取組状況 ・定期考査の成績
		主体的学習	・日常生活における具体的な事象の考察に、数学を活用しようとする。 ・自らの学習について振り返り、改善を重ねながら、粘り強く学習に取り組もうとする。	・行動観察 ・課題の提出状況

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	数学・数学B	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	23時間
--------	--------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 数列 第1節 数列とその和	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な数列である等差数列と等比数列の一般項や和といった基本的な計算ができる。 和の記号Σの意味を理解し、いろいろな数列の計算に活用することができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 一般項や和の計算を行うことができる。 Σを用いて数列の和を表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 具体例をもとに、一般項や和の公式がどのように表されるか考えることができる。 Σで表された和がどのような数列の和であるか判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 例題をもとに、練習問題において積極的に思考し、問題を解こうとする。 解答が不完全であったときに、どこで間違えたかを模範解答などにより確認し、類題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	数学・数学C	学年・コース	第3学年（普通コース・夢トラコース）	予定時数	17時間
--------	--------	--------	--------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの和や差、実数倍や内積などの考え方を理解し、計算することができる。 座標をもとにしたベクトルの成分表示を利用して基本事項の計算をすることができる。 ベクトルを、平面図形の性質の証明に利用できる思考力を身に付ける。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの和や差、実数倍や内積などの図示や計算ができる。 平行や垂直などの図形的性質を数式で表し、ベクトルを用いた証明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの成分表示の考え方を理解し、和や差、実数倍における計算方法を考えることができる。 平面図形の性質の証明を、数学的な論理をもとに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 図形的な性質を見出し、その証明にベクトルを活用しようとしている。 例題をもとに、練習問題において積極的に思考し、問題を解こうとする。 解答が不完全であったときに、どこで間違えたかを模範解答などにより確認し、類題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	理科・化学基礎	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	15 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 粒子の数に基づく察の表し方である物質の概念を導入し、物質と質量、物質と期待の体積との関係について理解する。 化学反応に関する実験などを行い化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 物質が粒子の数に基づく察であることを理解し、物質と質量、機体の体積との関係も理解している。 物質の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト（小テスト） 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。 実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 量的関係を物質と関連付けて考察しようとする。 課題に対して積極的に、意欲的に探究しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出状況 授業態度

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	理科・生物基礎	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	17 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性について理解する。 ・自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 ・内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 ・ホルモン分泌のフィードバック調節について理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・体液の種類と関係について理解している。 ・交感神経と副交感神経の分布と働きを理解している。 ・神経分泌の現象を理解している。 ・脳幹の働きと、脳死がどのような状態であるのかについて理解する。 ・フィードバック調節について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト（小テスト） ・定期考査 ・課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・交感神経と副交感神経の関係性を説明できる。 ・体内環境の調節における、内分泌系と自律神経系の働きの違いを説明できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・運動前後の心拍数の変化を測定する実験から、からだには体内環境の変化を情報として伝達するしくみがあることを見だし、体内における情報の伝達の概要を説明しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出状況 ・授業態度

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	理科・理数探究	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	17 時間
--------	---------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
課題の設定 ・校内外の問題に目を向ける ・仮説を立て、見通しを立てる	・学校生活や社会を支える身近な課題を見出し、問題点に注目する。 ・仮説を立て、問題解決の手立てを考える。	知・技	・学校生活や社会が抱える身近な課題を見つけ、どこに問題点はあるのか、理解することができる。 ・仮説を立て、問題解決の手立てを立てることができる。	・授業への取り組み ・プリント
		思・判・表	・学校生活や社会が抱える身近な課題を見つけ、問題解決について、考えを深めることができる。 ・問題解決の手立てを考えることができる。	
		主体的学習	・主体的に学校生活や社会に抱える身近な課題を見つけようとしている。 ・仮説を立て、問題解決の手立てを立てようとしている。	

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	6時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体育理論	<p>・スポーツから得られる「恩恵」とスポーツについての「課題」から、</p> <p>さまざまに思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造していく主体となっていることに気づくようにする。</p>	知・技	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・保体ノート ・訂正ノート ・活動の観察（取組）
		思・判・表	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・保体ノート ・訂正ノート ・活動の観察（取組）
		主体的学習	・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・忘れ物など ・保体ノート ・訂正ノート ・活動の観察（取組）
体づくり運動	<p>・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p>	知・技	・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。（	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の記録表 ・小テスト ・活動の観察
		思・判・表	・自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ノート ・班ノート ・運動の記録表 ・自己評価表
		主体的学習	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・出席状況 ・忘れ物など、 ・個人ノート

(令和6年度用)

長崎県立五島南高等学校

				<ul style="list-style-type: none">・自己評価表・活動の観察
--	--	--	--	---

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	10時間
--------	---------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	<p>・ 競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。</p>	知・技	<p>・ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>・ ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p>	<p>・ 競技の記録表</p> <p>・ ルールテスト</p> <p>・ 実技テスト</p> <p>・ 活動の観察</p>
		思・判・表	<p>・ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・ 個人ノート</p> <p>・ 班ノート</p> <p>・ 競技の記録表</p> <p>・ 自己評価表</p>
		主体的学習	<p>・ 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。</p>	<p>・ 授業の取り組み</p> <p>・ 出席状況</p> <p>・ 忘れ物など</p> <p>・ 個人ノート</p> <p>・ 自己評価表</p> <p>・ 活動の観察</p>

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	6時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 武道	<p>・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開できるようにする。</p>	知・技	<p>・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。</p> <p>・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、押さえたりするなどの攻防をすることができる。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。</p>	<p>・競技の記録表</p> <p>・ルールテスト</p> <p>・実技テスト</p> <p>・活動の観察</p>
		思・判・表	<p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・個人ノート</p> <p>・班ノート</p> <p>・競技の記録表</p> <p>・自己評価表</p>
		主体的学習	<p>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保しようとしている。</p>	<p>・授業の取り組み</p> <p>・出席状況</p> <p>・忘れ物など、</p> <p>・個人ノート</p> <p>・自己評価表</p> <p>・活動の観察</p>

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	スポーツVI	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	3時間
--------	--------	--------	----------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の記録表 小テスト 活動の観察
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人ノート 班ノート 運動の記録表 自己評価表
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 出席状況 忘れ物など 個人ノート 自己評価表 活動の観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	スポーツVI	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14時間
--------	--------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の記録表 ・ルールテスト ・実技テスト ・活動の観察
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人ノート ・班ノート ・競技の記録表 ・自己評価表
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・出席状況 ・忘れ物など ・個人ノート ・自己評価表 ・活動の観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽総合	学年・コース	第3学年（普通コース）	予定時数	16時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
日本の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現する力を伸ばす。 ・音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技評価 ・小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歌に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・授業態度等 	
リズムアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムアンサンブルの活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現する力を伸ばす。 ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技評価 ・小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・授業態度等 	

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽実技	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	18時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
ピアノ（独奏・合奏） ○ハ長調・ヘ長調・ト長調の練習 ○小品の演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏の活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現する力を伸ばす。 ・音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏に必要な基礎的な技能を身に付けている。 ・ピアノ演奏に必要な読譜に関する知識と技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技評価 ・小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・授業態度等 	

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	25 時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ	[題材内容] 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。 [言語材料] 動詞の目的語になる if 節 [言語活動] 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 動詞の目的語になる if 節を用いた文の形・意味を理解している。 京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。 動詞の目的語になる if 節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 プリント等 小テスト 振り返りシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 振り返りシート 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート 観察

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Word Box 4 Various Jobs	<p>[題材内容] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。</p>	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味を理解している。 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由について書いて伝える技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 プリント等 振り返りシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由について、的確に書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 振り返りシート 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由について、的確に書いて伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート 観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	25 時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ	[題材内容] 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。 [言語材料] 関係副詞：where, when [言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where, when を用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。 関係副詞 where, when の理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 プリント等 小テスト 振り返りシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 振り返りシート 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート 観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅱ	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	17時間
--------	----------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 1 Guess Who?! 誰かわるかな？	<ul style="list-style-type: none"> 「人物やキャラクター」を紹介するために、その特徴を表す表現を理解して、考えを深めることができる。 「人物やキャラクター」を紹介するために、その特徴について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫してまとめ、理由とともに詳しく話して伝えることができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい「人物やキャラクター」についての特徴を伝えるために必要となる語彙や文法を理解している。 「質問する」「描写する」表現の意味や働きを理解している。 「人物やキャラクター」の特徴について、「質問する」「描写する」表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト プリント 小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 「人物やキャラクター」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 「人物やキャラクター」についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 「人物やキャラクター」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 「人物やキャラクター」についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅱ	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	時間
--------	----------	--------	------------------	------	----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 2 Space Travel 宇宙旅行に行こう！	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために、「宇宙」や「応募」についての表現を理解して、考えを深めることができる。 ・「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙で体験してみたいアイデア」に応募するために必要となる語彙や文法を理解している。 ・「希望・願望を表す」や「提案する」の表現の意味や働きを理解している。 ・「宇宙」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 ・「宇宙」についての対話文を聞いたり、「宇宙旅行を募集するパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「宇宙」について、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ・「宇宙」についての対話文を聞いたり、「宇宙旅行を募集するパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

Lesson 3 Where Is the Post Office? 道案内をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするために、「道順」や「目印」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするために必要となる語彙や文法に関する事項を理解している。 「場所・行き方をたずねる」「位置・方向を示す」表現の意味や働きを理解している。 「道案内」について、「場所・行き方をたずねる」「位置・方向を示す」表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト プリント 小テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするために「道順」や「目印」などについて、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするために、「道順」や「目印」などについて、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 「道案内」についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をするために、「道順」や「目印」などについて、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 「道案内」についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察
Lesson 4 Wonderful World ここオススメ！	<ul style="list-style-type: none"> 「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、「名所」や「特徴」などを具体的に示す表現を理解して、考えを深めることができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために必要となる語彙や文法を理解している。 「具体的に説明を加える」の表現の意味や働きを理解している。 「世界の名所」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト プリント 小テスト

	・「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。	思・判・表	・「世界の名所」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝えている。 ・「世界のおすすめスポット」についての対話を聞いたり、「スペイン旅行のパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	・「世界の名所」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ・「世界のおすすめスポット」についての対話を聞いたり、「スペイン旅行のパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	家庭・フードデザイン	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	17 時間
--------	------------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 食生活と健康 第2章 栄養素のはたらきと食事計画 1節 栄養素のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 現代の食に関する問題点について理解するとともに、健康維持と食事の関係について学ぶ。 各栄養素の特徴と体内ではたらきについて理解するとともに、食物が体内でどのように消化や吸収されるのかについて学ぶ。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割や日本の食生活の現状について理解することができる。 各栄養素の特徴やはたらき、体内での消化や吸収について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について考え、まとめることができる。 各栄養素の体内ではたらきについて学んだことを、自分の食事に活かす方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> グループの人と協力して、問題に対する解決方法を考えたり、調理実習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 提出物
第4章 調理の基本	<ul style="list-style-type: none"> 調理の目的とおいしさにかかわる要因について理解するとともに、計量の方法や食品の切り方、調理方法の基礎など具体的な知識と技術を身に付ける。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 調理の目的とおいしさに関わる要因について理解している。 調理に必要な調理技術の基本を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 食物のおいしさの要因や調味、加熱などの調理操作が料理のできあがりを与える影響について考え、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> グループの人と協力して、問題に対する解決方法を考えたり、調理実習に取り組もうとしている。。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 行動観察 提出物

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	商業・ビジネスコミュニケーション	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	18 時間
--------	------------------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
1章 企業の組織と人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 企業の組織と意思決定の流れを理解する。 組織の一員として働く場合の心がまえを身につける。 人的ネットワークを構築することの重要性を理解する。 	知・技	・組織の構造や意思決定の構造、組織の一員として働く場合の心がまえや、人的ネットワークを構築することの重要性を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 定期考査
		思・判・表	・組織の構造や意思決定の構造、組織の一員として働く場合の心がまえや、人的ネットワークを構築することの重要性について説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 ワークシート 課題
		主体的学習	・組織の一員として働くことを意識しながら積極的に学び、自分自身の学習を振り返りながら、意欲的に活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題 授業への取り組み
2章 応対に関するビジネスマナー 1 挨拶 2 身だしなみ・表情・身のこなし 3 言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> 適切な挨拶や身だしなみ・表情・身のこなしを理解し、身につける。 さまざまな場面に応じた言葉遣いを理解し、身につける。 	知・技	・適切な挨拶や身だしなみ・表情・身のこなしを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 定期考査 ロールプレイ
		思・判・表	・適切な挨拶や身だしなみ・表情・身のこなしについて学習内容を振り返りながら体現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題 ロールプレイ
		主体的学習	・挨拶、身だしなみ、表情、身のこなしについて興味を持って学び、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題 授業への取り組み

短期シラバス（第1回考査分）

教科・科目名	商業・商品開発と流通	学年・コース	第3学年（夢トライコース）	予定時数	16 時間
--------	------------	--------	---------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
1章 商品開発と流通の概要	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発の意義、新商品の捉え方、商品ライフサイクル、商品開発の手順などについて理解する。 流通の仕組みについて、事例を調査して考察する。 市場環境とマーケティングの変化、流通チャネルの多様化について理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 現代市場における商品開発と流通の概要について理解し、現代市場の特徴と関連付けて、商品開発の意義と課題を見出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 定期考査 ワークシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題 授業への取り組み
2章 商品の企画	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発を行う上での、環境分析に基づいた市場調査とコンセプトの決定の必要性を理解する。 商品コンセプトを考察し、具体的に商品企画書の各項目をまとめる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発を行うにあたり、環境分析や市場調査、商品コンセプトの立案などの必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト ワークシート 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ブレインストーミングなどの技法を用いて、アイデアの創出が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 課題 授業への取り組み